

<p>箇所名</p>	<p>西明寺地区(益子町益子)</p>
<p>里山林の特徴 ・見どころ</p>	<p>益子町南部に位置する里山林で、獣害対策モデル地区として電気柵やワイヤーメッシュ柵が張られたのどかな田園風景が広がり、注目されています。 また、「関東ふれあいの道」が通り、すいとんまつりやホテルの夕べなどのイベントも行われ多くの方が訪れています。</p>

【情熱の詰まった集落づくり】

長年イノシシによる農作物への被害に悩まされていた住民たちが一致団結して、平成26年度から獣害対策を開始！
関東ふれあいのみち沿いを歩いて行くと、地域の皆さんの努力を感じます。



田畑の周り、イノシシが侵入する可能性がある場所は電気柵やワイヤーメッシュ柵で囲んであります。
電気柵は24時間体制で電気を流していますのでご注意ください。

電気柵から少しでも稲が出てしまうとイノシシに食べられてしまいます。日々の点検は欠かせません！稲の成長に伴い、柵を広げています。

また、電気柵に成長した草がかかると柵の効果が薄れてしまうため、地域の方が協力して草刈りなどの管理を行っています。



集落全体での取り組みが大事！



電気柵の境に立つとその効果の大きさに驚きます。柵の外側は、イノシシの掘り起こし跡でボコボコです。



さまざまな取組を進めてきた西明寺地区。地域全体が助け合いの心であふれていました。

【西明寺】

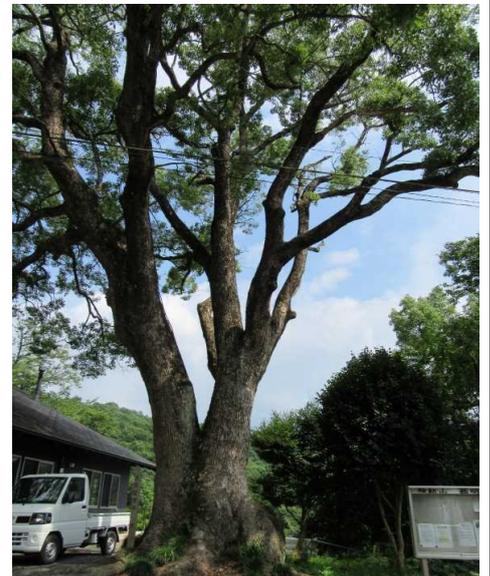
県指定天然記念物や文化財に巡り会える場所。



椎林叢(しいりんそう)やししかくだけ(しほうちく)

アラカシ、シラカシ、ウラジロガシ、アカジシなどが見られる椎林です。昭和32年に県天然記念物の指定を受けました。

稈が四角形をしていて、高さ3~7mほどになります。観賞用が主であり、寺院の庭園に多く見られます。



楠(くす)



楼門